



ワールドカップから学ぶ

校長 福森 真一

サッカーワールドカップ2023カタール大会で日本中の人々が、大きな感動をいただきました。印象的なプレーや出来事がたくさんありましたが、いくつかの出来事について話題にしたいと思います。

1 ス페인戦での三苫選手のセンタリングと田中選手のゴール

ゴールラインを割っていたのではないかとということで、世界中の話題となった三苫選手のセンタリング。あきらめないあのプレー、そして、必ずセンタリングが上がると信じて走り込んだ田中選手。幼なじみの二人が生み出したゴールに、多くの方々が胸を打たれたのではないのでしょうか。「あきらめないこと」そして「信じること」…私たちが生きていく上で大切にしたい二つのことを、プレーを通して教えてもらった気がしています。

2 日本人サポーターの試合後の片付けと美しく整えられた日本代表のロッカールーム

もう何度目でしょうか。サッカーワールドカップでの日本人サポーターによる片付けのシーンが、今回も見られました。また、日本代表の美しく整えられたロッカールームも合わせて、各国からの絶賛を受けていました。それでは皆さん、そもそも、どうしてこの行為が絶賛を受けるのかご存じでしょうか。試合に感謝し、会場に感謝し、スタッフに感謝して日本人は、会場を美しく片付けて帰りますが、この心持ちを育てているのが、学校で行われている毎日の「掃除の時間」だと考えています。実は、世界の中で、「掃除は自分でするもの」または、「来たときよりも美しく」といったことを学校教育で行っているのは、日本を含めた極めて限られた国だけなのです。世界では、日本の学校教育の「掃除の時間」や「学校給食」といった「特別活動(特活)」に感動し、導入を進めている国もあるほどです。

他県の一部では、学校で掃除をしないという選択をされたところもあるようですが、私は、学校で自分たちで掃除をしなくなってしまうたら、「日本人としてのよさ」を失ってしまうようでとても怖いです。場、人、ものへ感謝して磨き美しくするという行為を失ってはならないということ、また、学校での掃除の時間にもっと心を込めて取り組む姿勢を育てることを、今回のワールドカップで強く思うことでした。

子育て応援コーナー

「勉強しなさい」と言わなくても、我が子が勉強に取り組む魔法はありませんか？

言い聞かせたはずなのに勉強をしていない…イライラします。さらに、年齢が上がってくると、「勉強しなさい。」に対して、「今、面白いところだったのに。」とか「今、やろうとしていたのに。」と返されると、イライラはピークに…そして多くは怒鳴ってしまいます。なんとかならないものでしょうか。

限られたスペースで、全てに通じる答えは出せそうにありませんが、唯一言えるとしたら、「言われたからする」から、「自主的にする」へ変えていくことかと思えます。長期的な取組は、また別の機会として、短期的な取組としては、「①今日やるべきことを一緒に考える」、「②一緒に段取りを考える(〇分やったら休憩〇分、〇が終わったら〇分休憩など)」、「③しからず『時間だよ』と声をかける」、「④できたことをほめる」一緒に考えるのは時間と手間がかかります。でも、お子さんの豊かな未来を生み出す時間と手間になるかもしれません。ぜひ一度、試してみてください。

紙面の都合で4コママンガをお休みさせていただきました。





校内人権週間の取組



11月28日(月)～12月2日(金)は、校内人権週間でした。本校では、各学級の実態に応じた授業や人権集会、いじめ防止教室を行いました。人権週間では、ひまわり班に分かれ全校児童でゲームを行ったり、いじめ防止教室では、志布志法律事務所の方を招いて、いじめの実態やそれに伴う犯罪について詳しく学習したりしました。みんなが楽しく過ごしやすい学校になるために必要な大切な学習です。これからも日頃から意識して取り組んでいきます。



校内持久走大会



12月10日(土)、小春日和の中、ジャパンアスリートセンター大隅で校内持久走大会を行いました。この日のために子どもたちは、毎朝、校庭を走ったり、試走をしたりして体を鍛えてきました。子どもたちは、クラスや自分で決めた目標に向けて自分のペースを守りながら全力で走りました。たくさんの保護者や地域の方々、ティラノサウルスも子どもたちを応援してくれました。御声援のおかげで全員完走しました。ありがとうございました。



門松、イルミネーション設置

12月11日(日)9時より6年生の子どもたちと保護者、事業部員で門松づくりを行いました。新型コロナウイルスの影響で、子どもたちと保護者が参加しての門松づくりは2年ぶりでした。事業部長の上村さんが用意された竹をなたを使って親子で割ったり、友だちと協力して門松の装飾したりして楽しく活動できました。そして、立派な門松ができあがりしました。これで新年を迎えることができます。ありがとうございました。



同日15時から、おやじの会が主催したイルミネーション飾りを行いました。13家族が集まり、ユニック車も持ち込みそれぞれ分担された箇所にイルミネーションを飾っていきました。1時間30分ほどであっという間に飾り付けが終わりました。1月上旬まで御覧いただけたと思います。御協力ありがとうございました。

学級PTA

12月10日(土)、持久走大会の後に学級PTAを行いました。今回の内容は、2学期の振り返りと次年度のPTA会長・副会長の候補者選出でした。特に、冬休みの過ごし方については、子どもたちが安全に冬休み期間中に過ごせるように話し合いがなされたと思います。また、情報モラルの家庭内ルールについても各家庭で実践してほしいです。役員選出では、PTA理事会で決められたとおり、各学級でスムーズに役員選出がなされました。御協力、誠にありがとうございました。なお、次年度の学級理事の選出は、2月の学級PTAで行いますので、御理解と御協力をよろしくお願い致します。

1月の主な行事予定

1月 4日(水)	仕事始め	
8日(日)	消防出初め式	
9日(月)	成人の日	
10日(火)	始業式 PTA愛の声かけ運動 教育相談期間(2/4まで)	
14日(土)	土曜授業日	
16日(月)	C校時 アスリート教室(5・6年)	
17日(火)	鹿児島学習定着度調査 (～19日)	
18日(水)	PTA教育講演会(14:10～5・6年児童と全保護者)	
19日(木)	CRT検査(～20日) 大崎中新入生入学説明会(6年)	
23日(月)	アウトメディア・親子読書の日	

輝く菱田っ子の紹介!

- 第27回大崎町社会福祉作文コンクール
最優秀賞 6年 稲森 優那
- 第70回町民体育祭「大会スローガン」
優秀賞 6年 土田 結徠
- 鹿児島県図画作品展(地区)
特選 1年 堀之内 琉生
- 校内持久走大会(新記録)
2年 前田 新汰(3分 9秒)
2年 松永 一花(3分22秒)
6年 松永 絢人(4分19秒)
6年 前田 衛治(4分22秒)

